



CUDOスタッフ紹介

カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)のスタッフを紹介させていただきます。

伊賀 公一



伊賀です。いつも私たちの活動を支援していただきましてありがとうございます。皆様といつしょにやっている事が当たり前の事であり、配慮していないデザインの方が少数となる社会はそこまで来ていると思っています。

田中 陽介



D型強度の田中です。一色弱者としてCUDOの人間として、多様な色覚への配慮に奮闘される方々に対し、感謝の念とともに、できるかぎり協力したいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

岡川 恒輝



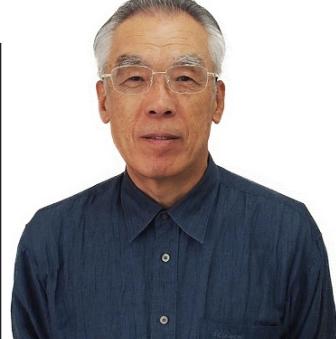
取組みをいただいている企業・自治体・個人の方々のおかげでCUDはここまで広く普及してきました。さらなる発展のためにも私達若手が今後のCUDを引っ張っていきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひします。

渡辺 俊介



前職の映像デザイン等の制作勤務の中で、制作物の配色における問題を感じ、また1ユーザーとして困っていた色弱者当人でもあります。優れたCUD対応製品がより多く普及できる事を目指し、皆様と一緒に取り組ませて頂ければと思います。

新井 昭彦



「カラーユニバーサルデザイン」の言葉が急速に普遍化しつつあり、喜ばしい限りです。「色弱者にも暮らしやすい社会」を目指すCUDOの下で少しでもお役に立てればと願っています。

井上 恵子



経理を担当しております井上恵子です。入社して1年、CUDOでの業務を通して学ぶこと・発見したことは数知れません。皆様の期待に応えられるよう努力して参ります。よろしくお願ひ致します。

井上 和美



事務局スタッフとして早6年。弟含め身内に色弱者が5人いることはさておき「社会が変わらなければ何も変わらない。」色弱の子を持つお母さんの涙にいつか応えたいと今日も奮闘中です。今後ともよろしくお願ひします。

スタッフ一同、
今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

「おはよう」から「おやすみ」までのCUD問題 その2 会社&おやすみ編

今回は会社&おやすみ編です。会社についた時からドジったり、困ったり…。今回も色弱者の生の声、体験談をもとにあげられた問題点と一緒に見ていきましょう。



出勤

会社に来てみて…あら?誰も来ていません。カレンダーの色、今日は平日の黒だったような。よくよく見てみると…祝日の赤でした。せっかくの祝日なのに出勤してしまいました…。



職場にて

「その橙のファイルって」と言われても橙が分からないのだから困るのは当然です。職場でも色の名前のコミュニケーションは沢山あるのです。



職場で特に困るのは事務用の電話です。外線・内線をつなぐこと、これがとても難しい。外線着信や通話中、保留などがそれぞれ赤や緑のLEDで色分けされているからです。CUD対応の事務用の電話があれば良いのに。

プレゼンが全然分からることもありました。色分けしているグラフなどのデータが読み取れないし、何処を差しているのか全然分からず赤色レーザーポインターを使わなければなりません。



一息入れようと思って、コーヒーをズズズ。アレ?お茶じゃないか!?こんなことも日常なんです。

飲み会・お付き合い

お酒の席で、いつも疑問に思うのは「顔赤いぞ」っていうアレです。トイレの鏡でチェックしても全然分かりません。分からないなりに楽しんでますが…。



帰り道

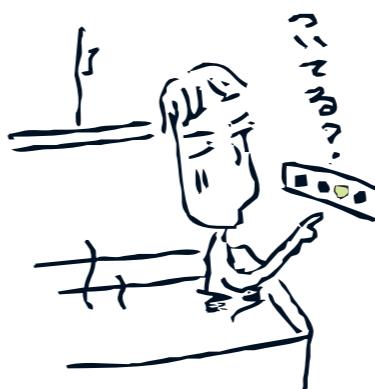
駅の改札で戸惑うこともあります。改札にもLEDの色分けがあるんですね。見分けられませんから、近くまで行ってやっとわかりました。なんだかなあ…。



帰宅後



家に着いたら電化製品の電源を入れます。アレ?テレビの電源つかないな…何回押してもついたのか分かりません(いつものことですが)。なんでこんなにわかりにくいんだろ…。皆さんはそうでもないようですね。電源のLEDの色を見分けているとかとか…いいですね。



お風呂

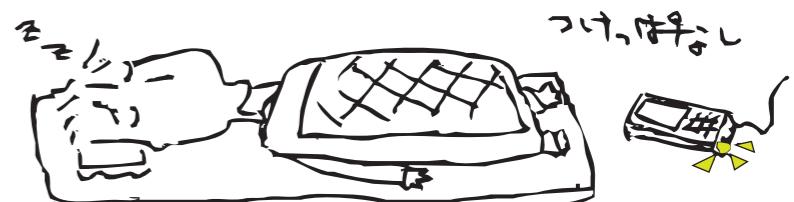
お風呂でもLED問題です。湯沸かしがついでませんでした。通りでぬるい訳だ。LEDは点灯していないとも、中の蛍光部材のおかげで点灯して見えるものがあります。シャンプーやリンスなども色分けがあります。間違えるのは嫌だから次からは違うメーカーにします。



就寝



寝る前にお茶でも飲もうと思ったら…ん?ぬるい。またもやLED問題!?ポットの保温がついてませんでした。寝る時は必ず携帯を充電機につなげっぱなしにします。なぜかといえば携帯のLEDが充電中は赤、充電完了は緑になるらしいからです。見ても分からないので寝てる間つなげっぱなしにすれば失敗しないだろうという…一種の知恵でしょうか。



この失敗談やドジった話が未来を変えてくれることを信じています。色弱の当事者の方は自分から進んでこうした話をしないので、CUDOが色弱ドジり話の日本代表になります。次回以降もよろしくお願いします。

株式会社コンラックス松本

営業部
丸山 直樹

聞き手 ク):CUDO 話し手 丸):丸山様



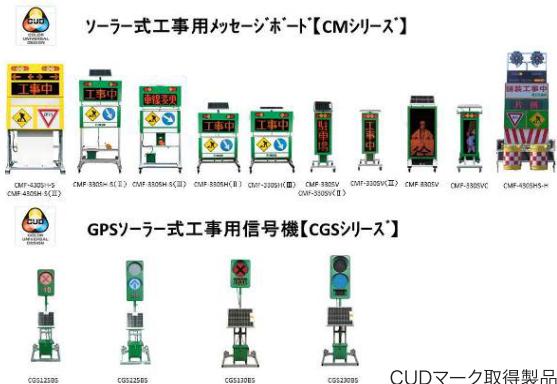
ク) 貴社の概要について教えてください。

丸) 弊社は約30年前、屋外用のニュースが流れる電光掲示板を日本で最初に開発した会社です。その後、自販機のコインや紙幣識別装置メーカーの日本コンラックスの子会社となりました。約20年前に、工事用のLED(発光ダイオード)信号機を開発しました。出だしは低調でしたが、12年前にソーラー(太陽光発電)型信号機を開発してから、広がり始め、現在に至っては、ソーラー式工事用メッセージボードやソーラー式保安灯などに製品群が広がっています。

ク) CUDに取り組むきっかけはどのようなものでしたか。

丸) 「工事用信号機の色が見分けられない」という投書が熊本や山形等の新聞に載ったという事をお取引先様から聞いたのが最初です。工事用信号機は、交通信号機と異なり設置や移動が簡単に行える様、2灯式よりも取り回しの良い1灯式が喜ばれました。ランプは1個で2色の変化をするもので、当時はまだ青色LEDが普及しており、色は「緑」と「赤」です。色弱の人には変化したことも解らなかった事でしょう。また弊社ではありませんが、2灯式の物でも、交通信号機と異なり、上の方が「緑」下に「赤」をつけたものがあったと聞いており、これも色弱の人には見わけがつかなかった事でしょう。

その後、ソーラー式を開発するにあたり、色弱の人にも見わけがつくように、市場に出てきた青色LEDを使い、また丸型の中に「矢印の形」や「×型」を抜き、省エネ設計も兼ねながら作る事にしました。お客様の中にも色弱の方もおられ「これはとても見分けやすい」と言って頂きました。弊社としては、色弱の人に見分けやすいのかどうか裏付けが必要なのではないかと考え、CUDOに検証を依頼し2007年10月に認証を取得しました。



ク) ご苦労されたことについておしえていただけませんか。

丸) ソーラー信号機を「矢印形」に抜くことは「左・右折可」の交通信号機から発想しました。「矢印形」の方を消すことに決め、デザインを検討しましたが、初期では「キノコ」にしか見えず、LEDの配列なども含め検討していました。

ソーラー式メッセージボードは、ソーラー式信号機とは違い、単色系の色選びは比較的簡単でしたが、後の製品のLEDフルカラー型については、表現が多様になり色の組み合わせも大変多くなり、色弱の人にも一般の色覚の人にも共に見分けやすい色を選ぶのは難しく、大変なのでCUDOに相談しながら設計しました。

ク) CUD化はどうでしたか。

丸) 建設機械のみならず工事保安用品分野でのCUD認証は当社が最初でした。業界全体が後に続いてきました。社会のCUD化推進に少しあ寄与できたと自負しております。



矢印形を採用したソーラー式信号機

たとえば、国交省の新技術情報提供システム(NETIS)に登録されました。これは工事現場の品質を向上させるもので改善提案になるものです。登録された製品や工法を採用する事が進められています。

最初は役所で説明しましたが、何のことか解ってもらえないませんでしたが、そういう事があるならCUD認証品の方が良いのだろうという事でした。ところが実際の工事現場の方やレンタルリース会社の方、そして弊社の社内にも色弱の人がいました。そういう方たちに大変評判が良かったのです。次の現場では使おうという事になり、お蔭様で弊社の製品が多く普及する事になりました。

ク) 今後の取り組みなどはいかがでしょうか。

丸) 弊社の製品はほとんどすべてがCUD認証品になりました。特注品などについても今後はお客様に普及させていきたいと思います。また、弊社のカタログについても印刷会社がナオのモニターを導入しCUD配慮をしてもらっています。商社やレンタルリース会社向けにCUDの話を聞いて頂ける様な企画を進めてCUD社会の実現に寄与できればと考えております。是非CUDOにも手伝って頂きたいと思います。

ク) 賛助会員企業にはCUDOから講師やCUDコンサルタントを派遣しますのでどうぞご利用ください。本日はどうありがとうございました。

認証取得

最近CUDマークを取得した事例をご紹介致します(順不同)

理想科学工業株式会社

“リソグラフSD5630”

大量の印刷物を毎分130枚のスピードで高速出力できるデジタル印刷機。使用する方が分かりやすく操作できるよう配慮され、学校、企業、自治体などのさまざまな用途で活用される。(機器類)

<http://www.riso.co.jp/product/risograph/>

株式会社コンラックス松本

“工事用GPSソーラー式信号機、工事用ソーラー式メッセージボード CMF-330SVC他”

道路工事等において、片側交互通行時の交通整理や注意を喚起する表示板。ソーラー式で商用電源を必要としない、工事用保安用品。(機器類)

<http://www.conluxmatsumoto.com>

大阪市交通局

“大阪市営交通南港ポートタウン線旅客案内表示装置”

列車の接近・出発など運行情報をはじめ、災害時等の緊急情報等を知らせる表示装置。大阪南港地区を運行する新交通ニュートラム全10駅のホーム部に設置される。(機器類)

<http://www.kotsu.city.osaka.lg.jp/>

株式会社 東栄社

“東栄社理科教材まめでんきゅうHB-II”

製品本体、化粧箱、取扱説明書にいたるまで色覚の多様性に配慮し、できるだけ多くの児童に見分けやすいカラーリングで設計された理科実験材料。(機器類)

<http://www.e-toei.co.jp/>

ダンレックス株式会社

“ソーラーフラッシュアロー”

通行者や通行車に赤色を認知させ、誘導させるLED矢印板。太陽光を利用した事により電池が不要になり、視認性及び利便性が良い製品となっている。(機器類)

<http://www.danrex.co.jp/>

ソニー株式会社

“Annual Report 2012~Business and CSR Review~”

アニュアルレポートとCSR(企業の社会的責任)に関わる活動を報告したCSRレポートを一つのレポート(one report)として、包括的な企業情報をまとめた新たな形のレポート。(印刷物)

<http://www.sony.co.jp/SonyInfo/IR/financial/ar/2012/common/docs/JAR.pdf>

http://www.sony.co.jp/SonyInfo/csr_report/report/

お知らせ

IAUD-FC「色のユニバーサルデザイン」のご報告

2012年6月8日に渋谷区の国連大学にて、国際ユニバーサルデザイン協議会(IAUD)主催のフューチャーセンター(FC:様々な関係者を幅広く集めて、長期的な課題の解決を目指す場作り)が行われました。Facebookやtwitter



などで開催を知った方々がお集まりになり、なごやかな雰囲気の中、CUDを通した社会への改善提案が話されました。CUDOの企業賛助会員の方々も参加されており、とても実りのあるワークショップが展開されていました。参加した私は自身、CUDO以外の方から本格的なCUDへの意見を聞く大変貴重な時間を過ごすことができました。(事務局)



愛知大学新校舎CUDマーク取得のお知らせ

2012年4月に名古屋駅さしまライブ24地区に新たに開校した愛知大学名古屋キャンパスでは、校内のサイン設計において、大学としては初めて、CUDマークを取得されました。使用目的別に配色された、教室や施設の案内図



は、どのような色覚の方にも分かりやすく設計され、入学された学生の皆さんには快適なキャンパスライフをご経験される事かと思われます。(事務局)

SEASON IN THE CUDO No.8 夏号 2012年 7月20日発行
発行元:NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-1-5昌平橋ビル3階

TEL/FAX: 03-6206-0678

発行人:武者廣平